

平成30年 3月 1日

無償化に関する意見

沖縄県認可外保育園連絡協議会

会長 末 広 尚 希

「幼児教育・保育無償化」に関する意見・理由は以下の通りです。

①わが国の少子化問題が深刻化する中、「もっと子どもを産みたいのに無理」といった教育費の支援を求める子育て世帯の声が大きくなる昨今(新しい経済政策パッケージ H29.12.8)では、所得に関わらず、すべての子どもたちに平等な幼児期の教育の機会(将来性)を与えるために、無償化政策の早急な実現が必要。

②沖縄県では県内保育所に占める認可外保育園施設数の割合が本土の3倍となっており、認可外への過重な依存度が現在も続いている。
加えて、待機児童率が全国ワーストの同県においては認可外保育園の存在なしでは保育行政は成り立たない現状であるにも関わらず、子どもたちへの公的補助の格差が拡大する一方である(保育士の処遇改善策が認可外保育園は対象外であることも含め)ことから、ディープインパクトな大改革が必要である。

③子どもの貧困率が全国ワースト(沖縄県 29.9%)、全国の3倍以上(沖縄県貧困調査)の沖縄県においては特に、(1.所得の制限 2.認可外施設監督基準を満たした園)の基準を設けた上で、認可、認可外に関わらず、0歳～5歳(就学前)までのすべての子どもを対象にした幼児教育保育無償化が必要不可欠である。

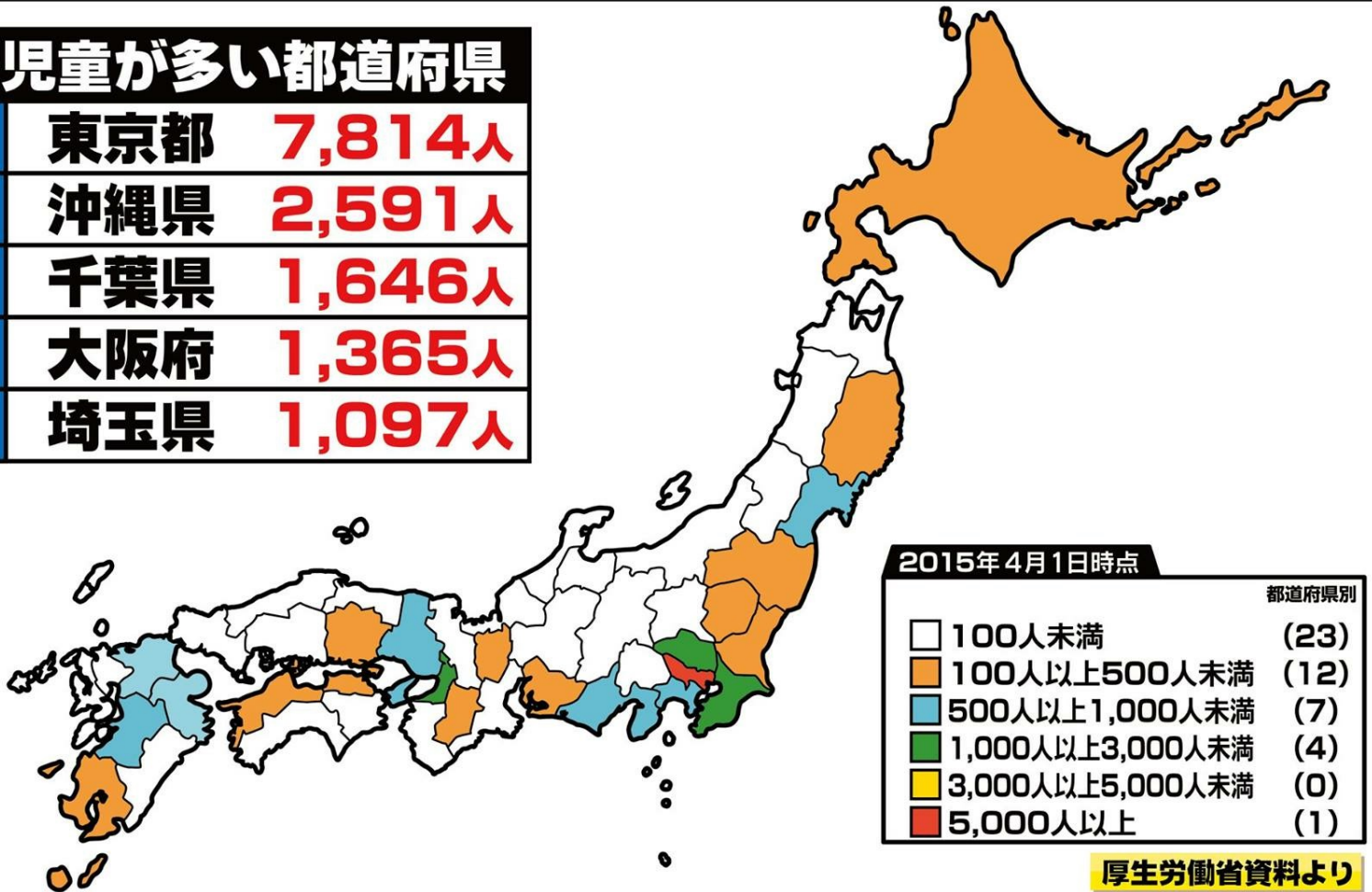
以上

沖縄県における 認可外保育園の現状と課題

全国待機児童マップ(都道府県別)

待機児童が多い都道府県

1位	東京都	7,814人
2位	沖縄県	2,591人
3位	千葉県	1,646人
4位	大阪府	1,365人
5位	埼玉県	1,097人



最新数値 沖縄県待機児童数 2247人 (平成29年 4月)

待機児童率

沖縄県

全国ワースト

沖縄県の認可外保育園

343 園

(認可保育園 622園)

11,724 名

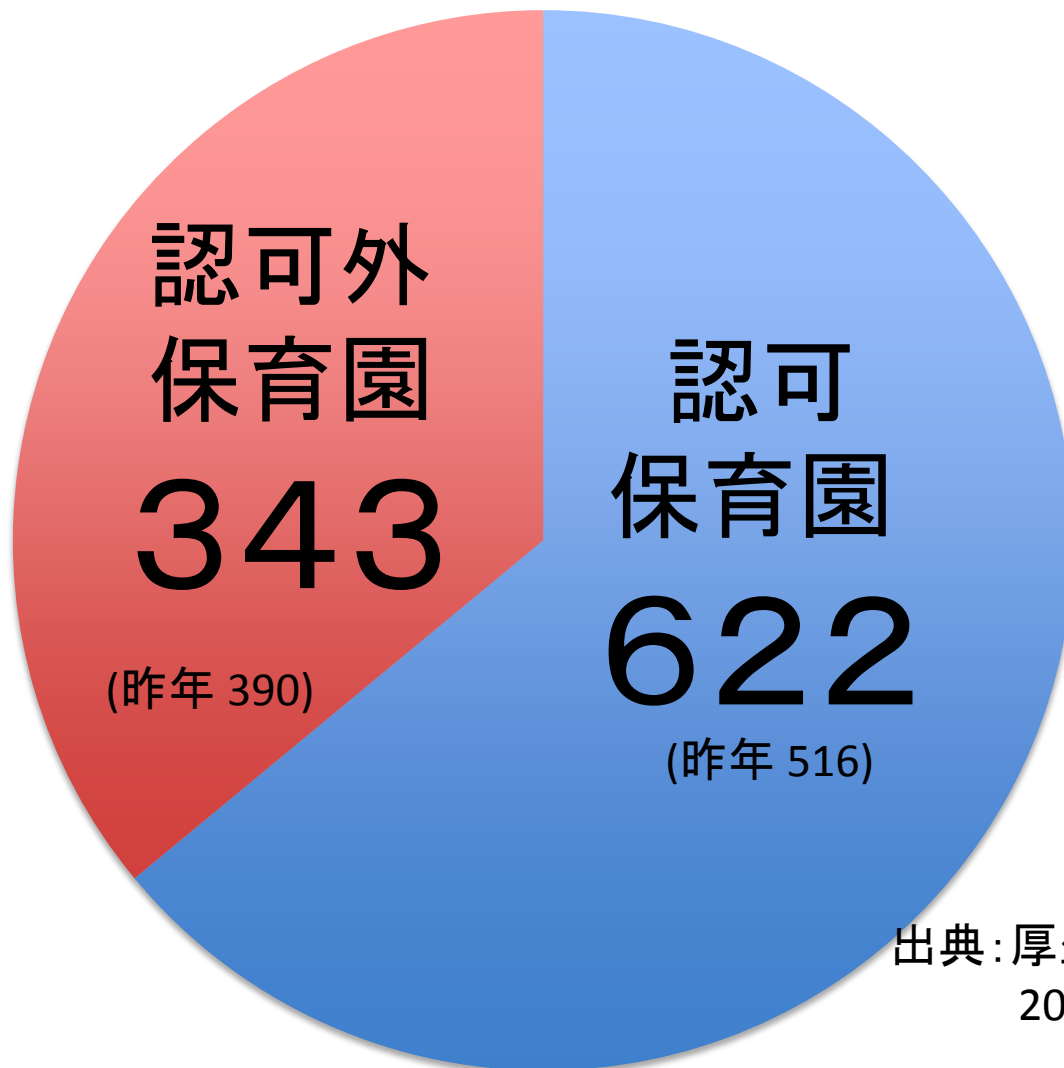
(認可保育園 44,271名)

2017年

施設数 36% : 64%

(昨年 43%)

(昨年 57%)

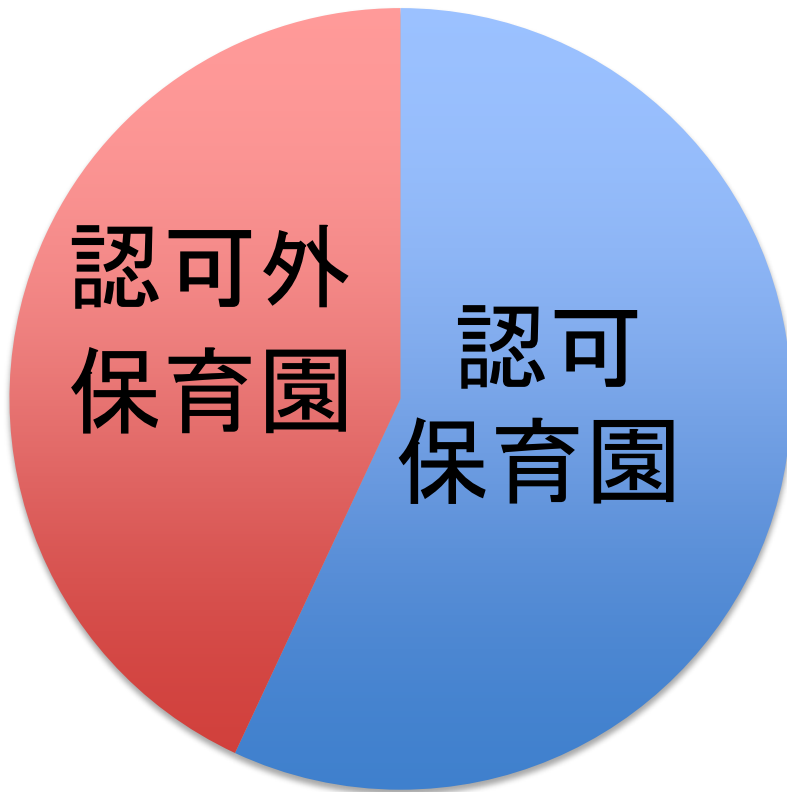


出典: 厚生労働省
2017沖縄県資料

本土との比較

沖縄県

認可外 36% : 認可 64%



本土平均

認可外 7% : 認可 93%



出典: 厚生労働省
2017沖縄県資料

本土とは違う沖縄の状況

(厚生労働省)

認可外保育園 施設数 の割合

全国平均: 18.3%

沖縄県: 36%

本土の2倍以上も多い

認可外保育園 入所児童数 の割合

全国平均: 7%

沖縄県: 21%

本土の3倍も多い

戦後の社会福祉施設整備の遅れを
地域の認可外保育園が
行政の代わりに担ってきた。

沖縄県は、認可外保育園なしでは
保育行政は成り立たない。

◎給食費の差

1日あたり(3歳未満)

認可 409円

認可外 99円

約4倍の差

◎運営費の差(沖縄県平均値)

0歳児の場合 (年間)

認可 1 8 3 6, 1 2 0円

認可外 1 4, 0 0 0円

その差は**182万円**

なんと

約130倍

出典:厚生労働省
県内市町村資料

那覇市の園児 1人あたりの公的補助(3歳児)

認可

平均 **84** 万円

認可外

平均 **6** 万 **4** 千円



77 万 **6** 千円の差